弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 皮膚腫瘍発生におけるヒトパピローマウイルスおよびポリオーマウイルス感染関与の検討

研究の目的

皮膚腫瘍において、その発生にヒトパピローマウイルスやポリオーマウイルスが関与していることが知られています。皮膚腫瘍組織内のヒトパピローマウイルスやポリオーマウイルス感染の有無を検討することにより、皮膚腫瘍発生機序の解明につながる知見を得ることが本研究の目的です。

研究実施期間： 令和3年12月3日～令和13年3月31日

弘前大学医学部附属病院皮膚科において、平成28年4月1日より令和対象となる方： 13年3月31日まで、皮膚腫瘍の診断のための生検や治療のための手術などで病理組織学的検査を行った方。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

弘前大学皮膚科で診療のために生検あるいは切除した腫瘍組織検体を、表記研究課題実施のために利用します。

具体的には、腫瘍組織検体からウイルス核酸(DNAあるいはRNA)を抽出し、目的のウイルス(ヒトパピローマウイルスやポリオーマウイルス)遺伝子をPCRなどの分子生物学的手法を用いて増幅させ、ウイルス感染の有無を検討します。実験および遺伝子解析は皮膚科研究室内で行われます。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先：

弘前大学大学院医学研究科皮膚科学講座 六戸 大樹、相樂 千尋 電話：
0172-39-5087 FAX：0172-37-6060